

平成 19 年中の設備投資計画アンケート調査結果**平成 19 年中の設備投資実施企業は増加
製造業は増加し、非製造業は減少**

【 要 約 】

平成 19 年中に設備投資を計画している鳥取県内の企業は全体で 47.3%。昨年調査と比較して 1.0 ポイント増加した。産業別では、製造業の設備投資計画は 8.5 ポイント増加し、非製造業は 7.1 ポイント減少した。また業種別では、「食料品」、「金属製品」、「紙、紙加工品」、「その他製造業」等が昨年と比較し増加している。

設備投資計画の内容・規模は、「昨年は実施しなかったが今年には実施する」企業と「昨年より増額する」企業、「昨年に続き今年も実施しない」企業が増加し、「昨年より減額する」企業と「昨年は実施したが今年には実施しない」企業は減少した。また、「昨年より増額する」企業の割合は、近年増加傾向にある。

設備投資の目的と内容は、例年と同様に「既存設備の補修、更新」が最も多く、「工場・機械設備の増設、能力拡充」、「合理化、省力化、省エネ」、「新製品の生産設備、新規事業、経営の多角化」と続いた。昨年調査と比較し増加した項目は、「工場・機械設備の増設、能力拡充」と「新製品の生産設備、新規事業、経営の多角化」であった。

設備投資を行う際の主な資金調達方法は、「自己資金」と「借入金」が大半となった。

設備投資を実施しない主な理由については、「先行きの見通しが立たない、不透明なため」をあげる企業が最も多く、次に「売上・受注や利益が低迷しているため」、「設備投資が一巡しているため」と続いた。設備投資が一巡するなどの「投資の必要性が無い」という理由よりも、企業が抱えている問題や景気動向を理由として、設備投資を見送っているケースが多くなっている。

【 調査概要 】

調査項目：

1. 平成 19 年中の設備投資計画の有無、規模
 - (1) 設備投資計画の推移
 - (2) 業種別設備投資計画の推移
 - (3) 資本金別の投資計画
 - (4) 投資計画の内容・規模（前年実績に対する増減割合）
2. 設備投資計画の目的と内容
3. 設備投資資金の調達方法
4. 設備投資を実施しない主な理由

調査日：平成 19 年 1 月（平成 11 年より毎年 1 月に同様のアンケート調査を実施）

調査方法：郵送、持参によるアンケート調査

調査対象：鳥取県内の事業所（248 事業所）

有効回答数：112 社（有効回答率 45.2%）

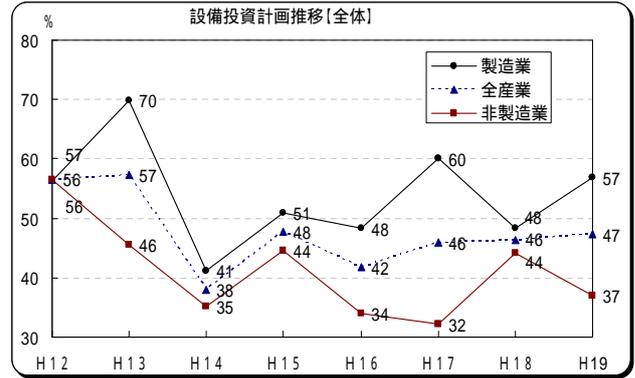
1. 設備投資の有無、規模

(1) 設備投資計画の推移

平成 19 年中に設備投資計画がある県内企業は、全回答企業 112 社中、53 社(回答企業の 47.3%)で、昨年同調査の 46.3%から 1.0 ポイント増加した。

産業別にみると、製造業は 33 社で 8.5 ポイント増加(昨年 48.4% 今年 56.9%)し、非製造業では 20 社で 7.1 ポイント減少(昨年 44.1% 今年 37.0%)した。

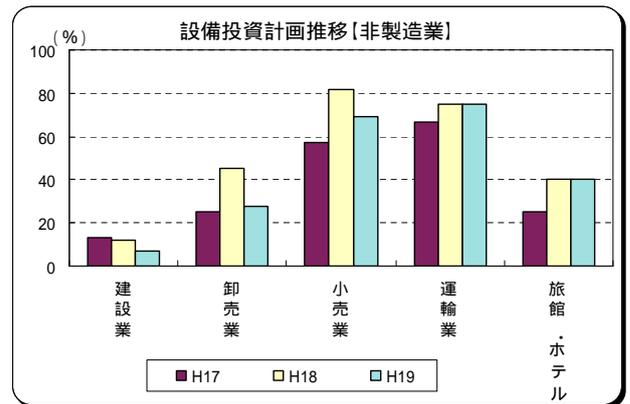
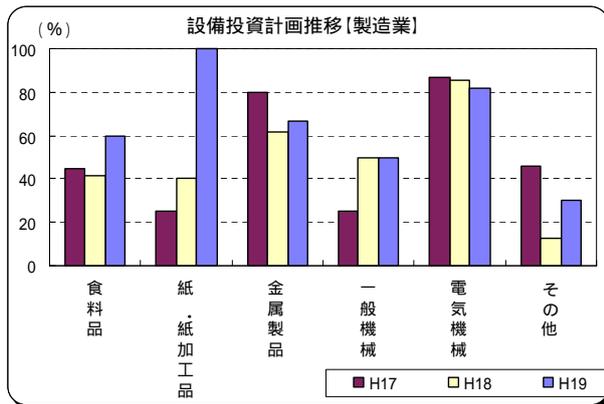
昨年の設備投資計画では、産業別での格差が縮小したが、再び格差が拡大する結果となった。



(2) 業種別設備投資計画の推移

業種別に設備投資計画を見ると、製造業では「食料品」で 18.3 ポイント(昨年 41.7% 今年 60.0%)、「金属製品」で 5.2 ポイント(昨年 61.5% 今年 66.7%)、「紙、紙加工品」で 60 ポイント(昨年 40.0% 今年 100%)、「その他の製造業」で 17.5 ポイント(昨年 12.5% 今年 30%)増加したが、「一般機械」は昨年同水準(昨年 50.0% 今年 50.0%)となり、「電気機械」は 3.9 ポイント(昨年 85.7% 今年 81.8%)減少した。

非製造業では、「運輸業」(昨年 75.0% 今年 75.0%)、「旅館・ホテル」(昨年 40.0% 今年 40.0%)と共に昨年同水準となったが、「建設業」で 4.7 ポイント(昨年 11.8% 今年 7.1%)、「卸売業」で 17.7 ポイント(昨年 45.5% 今年 27.8%)、「小売業」で 12.6 ポイント(昨年 81.8% 今年 69.2%)と大きく減少している。

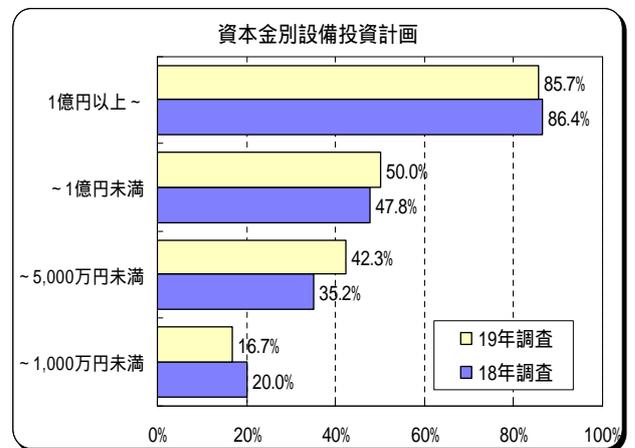


(3) 資本金別の投資計画

資本金別に平成 19 年の設備投資計画を見ると、資本金「1 億円以上」の企業は 85.7% (昨年比 0.7 ポイント減)、「5,000 万円以上1億円未満」の企業は 50% (同 2.2 ポイント増)、「1,000 万円以上 5,000 万円未満」の企業は 42.3% (同 7.1 ポイント増)、「1,000 万円以下」の企業は 16.7% (同 3.3 ポイント減)となった。

資本の規模により、設備投資を計画している企業の割合は異なり、規模が大きくなるにしたがって設備投資を計画している企業の割合が多くなっている。

また、資本金「1 億円以上」の企業で、昨年との比較でほぼ横這い。「5,000 万円以上1億円未満」の企業、「1,000 万円以上 5,000 万円未満」の企業で割合が増加し、「1,000 万円以下」の企業では、設備投資を計画している企業の割合が減少した。



(4) 投資計画の内容・規模(前年実績に対する増減割合)

平成 19 年中の設備投資計画の内容・規模については、「昨年は実施しなかったが今年実施する」が 12.5%、「昨年より増額する」が 19.6%、「昨年より減額する」が 15.2%、「昨年は実施したが今年実施しない」が 14.2%、「昨年に続き今年も実施しない」が 38.4%となった。

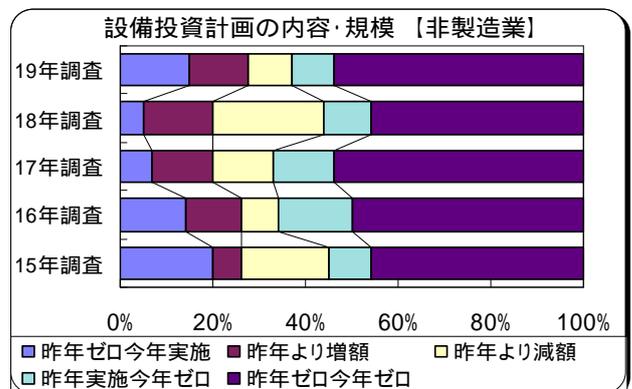
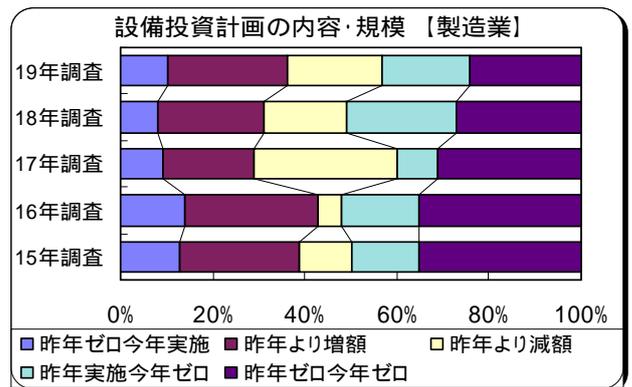
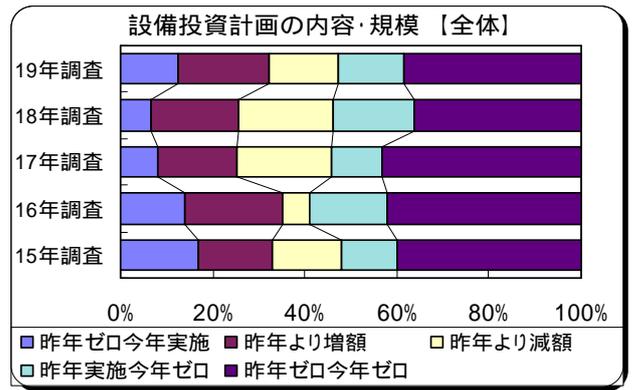
投資計画の内容・規模を昨年調査と比較すると、「昨年は実施しなかったが今年実施する」企業(昨年 6.6% 今年 12.5%)と「昨年より増額する」企業(昨年 19.0% 今年 19.6%)、「昨年に続き今年も実施しない」企業(昨年 36.4% 今年 38.4%)が増加し、「昨年より減額する」企業(昨年 20.7% 今年 15.2%)と「昨年は実施したが今年実施しない」企業(昨年 17.4% 今年 14.2%)は減少した。

規模の増減はあるが、設備投資を計画している企業(「昨年は実施しなかったが今年実施する」企業+「昨年より増額する」企業+「昨年より減額する」企業: 昨年 46.3% 今年 47.3%)は増加している。全体での設備投資計画が増加した要因は、「昨年は実施しなかったが今年実施する」企業が増えた事が影響しているものと考えられる。

産業別にみると、平成 19 年中に設備投資を計画している企業の割合が増加した製造業では、「昨年は実施しなかったが今年実施する」企業(昨年 8.1% 今年 10.3%)、「昨年より増額する」企業(昨年 22.6% 今年 25.9%)、「昨年より減額する」企業(昨年 17.7% 今年 20.7%)と設備投資を計画している企業の割合が昨年より増加している。

非製造業では、「昨年は実施しなかったが今年実施する」企業(昨年 5.1% 今年 14.8%)の割合は大きく増加したものの、「昨年より増額する」企業(昨年 15.3% 今年 13.0%)、「昨年より減額する」企業(昨年 23.7% 今年 9.3%)の割合は減少している。また、「昨年に続き今年も実施しない」企業(昨年 45.8% 今年 53.7%)も高い割合になっている。

このことから、全体の設備投資を計画している企業の割合が増加したのは、製造業で設備投資を計画している企業が増加したことが起因している。

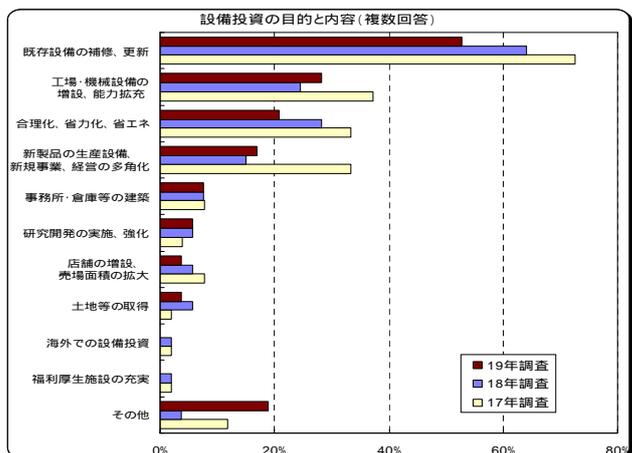


2. 設備投資の目的と内容(複数回答)

設備投資の目的と内容(複数回答)では、「既存設備の補修、更新」が全回答の5割を超え(52.8%)、例年と同じ最も多い回答となった。

次は「工場・機械設備の増設、能力拡充」(28.3%)で、「合理化、省力化、省エネ」(20.8%)、「新製品の生産設備、新規事業、経営の多角化」(17.0%)と続いている。

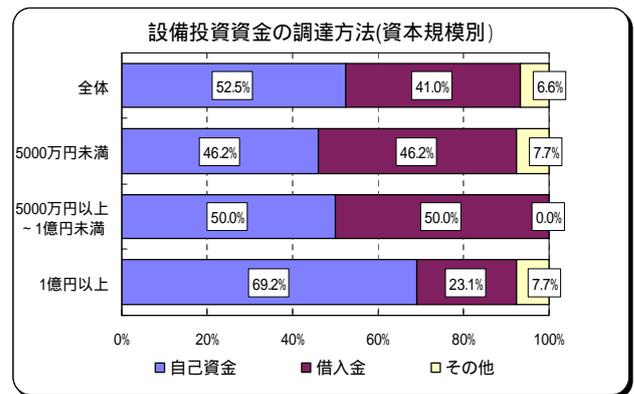
昨年調査と比較し増加した項目は、「工場・機械設備の増設、能力拡充」(昨年 24.5% 今年 28.3%)と「新製品の生産設備、新規事業、経営の多角化」(昨年 15.1% 今年 17.0%)であった。



3. 設備投資資金の調達方法

設備投資計画における主な資金の調達方法をみると、「自己資金」が52.5%、「借入金」が41.0%、「その他」が6.5%となり、調達方法を「自己資金」、「借入金」とする企業が大半となった。

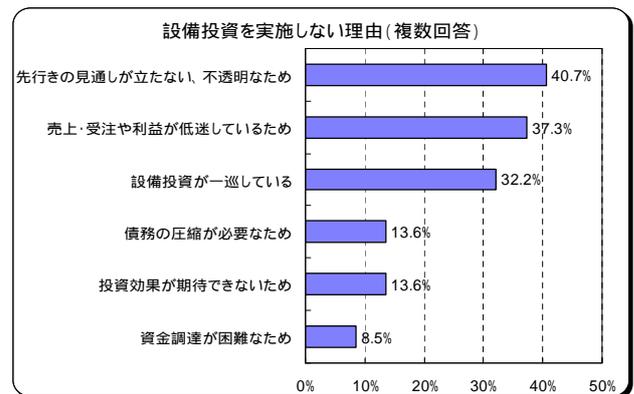
会社の規模別では、資本金「5,000万円未満」の企業、「5,000万円以上1億円未満」の企業で、「自己資金」、「借入金」の割合が半々となり、「1億円以上」の企業では、「自己資金」69.2%、「借入金」23.1%と自己資金での資金調達が多くなっている。



4. 設備投資を実施しない主な理由(複数回答)

平成19年中に設備投資を実施しない主な理由(複数回答)については、「先行きの見通しが立たない、不透明なため」(40.7%)をあげる企業が最も多く、次に「売上・受注や利益が低迷しているため」(37.3%)、「設備投資が一巡しているため」(32.2%)と続いている。

設備投資が一巡するなどの「投資の必要性が無い」という理由よりも、企業が抱えている問題や景気動向を理由として、設備投資を見送っているケースが多くなっている事が窺える。



以上